

2023.3

外国語（英語）パフォーマンステスト事例集

小・中・高を通じた英語教育強化推進委員会 作成

佐賀県教育委員会

外国語(英語)パフォーマンステスト事例集

はじめに	4
検索方法について	5
● 事例1 【話すこと[やり取り]】 小4 2学期	6
● 事例2 【話すこと[やり取り]】 小5 3学期	7
● 事例3 【話すこと[やり取り]】 小6 1学期	8
● 事例4 【話すこと[やり取り]】 中1 1学期	9
● 事例5 【話すこと[やり取り]】 中2 2学期	11
● 事例6 【話すこと[やり取り]】 中3 3学期	13
● 事例7 【話すこと[やり取り]】 高校①	15
● 事例8 【話すこと[やり取り]】 高校②	17
● 事例9 【話すこと[やり取り]】 高校③	19
● 事例10 【話すこと[やり取り]】 高校④	21
● 事例11 【話すこと[やり取り]】 高校⑤	23
● 事例12 【話すこと[やり取り]】 高校⑥	25
● 事例13 【話すこと[やり取り]】 高校⑦	26
● 事例14 【話すこと[やり取り]】 高校⑧	27
● 事例15 【話すこと[やり取り]】 高校⑨	28
● 事例16 【話すこと[やり取り]】 高校⑩	30
● 事例17 【話すこと[発表]】 小4 3学期	32
● 事例18 【話すこと[発表]】 小5 3学期	34

● 事例19 【話すこと[発表]】 小6 2学期	35
● 事例20 【話すこと[発表]】 中1 2学期	36
● 事例21 【話すこと[発表]】 中2 1学期	38
● 事例22 【話すこと[発表]】 中3 1学期	40
● 事例23 【話すこと[発表]】 高校①	42
● 事例24 【話すこと[発表]】 高校②	43
● 事例25 【話すこと[発表]】 高校③	45
● 事例26 【話すこと[発表]】 高校④	47
● 事例27 【話すこと[発表]】 高校⑤	49
● 事例28 【話すこと[発表]】 高校⑥	50
● 事例29 【話すこと[発表]】 高校⑦	51
● 事例30 【話すこと[発表]】 高校⑧	52
● 事例31 【書くこと】 中1 3学期	54
● 事例32 【書くこと】 中1 3学期	56
● 事例33 【書くこと】 中2 3学期	58
● 事例34 【書くこと】 中3 2学期	60
● 事例35 【書くこと】 高校①	62
● 事例36 【書くこと】 高校②	64
● 事例37 【書くこと】 高校③	66
● 事例38 【書くこと】 高校④	67
● 事例39 【書くこと】 高校⑤	68

- 事例40 【書くこと】 高校⑥ 70
- 事例41 【書くこと】 高校⑦ 71
- 事例42 【書くこと】 高校⑧ 73

はじめに

この事例集は、県内の各学校で実施される「パフォーマンステスト」の参考となるように作成したものです。

「令和4年度小中高を通じた英語教育強化推進委員会」の推進委員が、それぞれの所属校で実施している「話すこと」や「書くこと」の到達度を測るパフォーマンステスト事例を編集し、それを多数掲載しています。児童生徒のコミュニケーション力の育成に向けて、ぜひご活用いただければと思います。

ただし、言うまでもありませんが、各学校で実施されるパフォーマンステストは「指導と評価の一体化」の観点から、必ず単元や授業の延長線上にあるものです。そのため、この事例集のテスト方法や評価方法を参考にし、各学校における単元や授業の内容に即して、必要に応じてカスタマイズしながら、「話すこと」や「書くこと」の評価が適切に行われるようにパフォーマンステストを作成することが大切です。

本事例集が、日々の指導や各種研修会などさまざまな場面で活用され、教師の指導の改善や児童生徒の主体的な学びに寄与できることを期待しています。

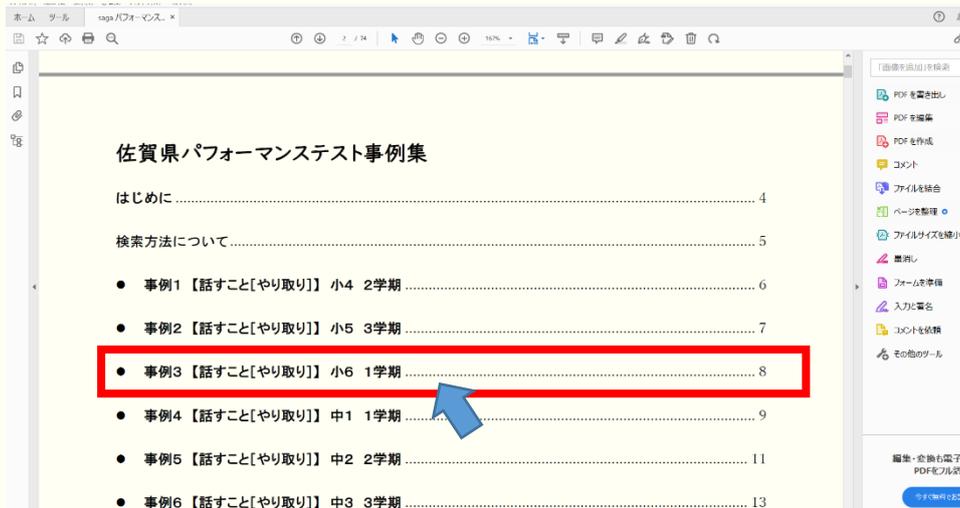
2023年3月 佐賀県教育委員会

検索方法について

PDFの資料をコンピュータ上で検索する方法は2つあります。

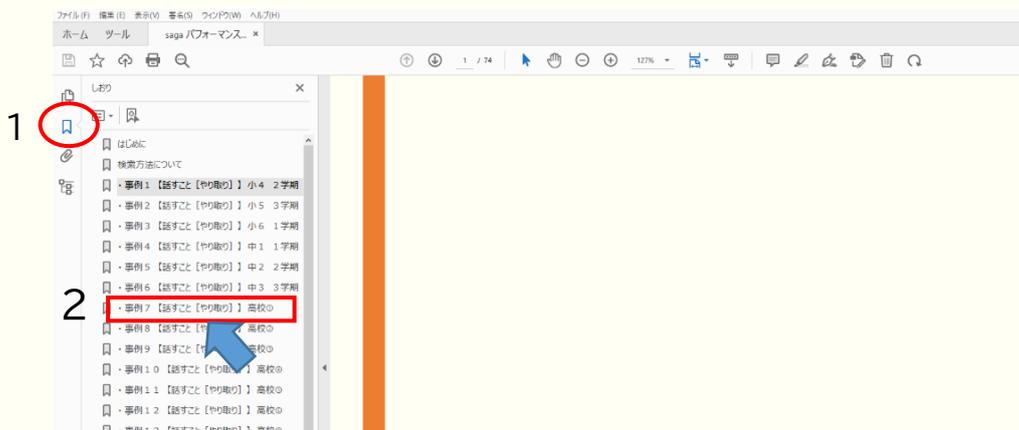
■検索方法Ⅰ：目次の使用

- ① PDFを開く。
- ② 目次から、見たい項目をクリックする。
- ③ 指定した頁にジャンプします。



■検索方法Ⅱ：しおり機能の使用

- ① 「1」の『しおりマーク』をクリックする。
- ② 「2」のように、リストの中から見たい項目をクリックする。
- ③ 指定した頁にジャンプします。



事例1 【話すこと[やり取り]】 小4 2学期

～Let's Try! 2 Unit 7 What do you want?～

1 2学期の話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-TRY リスト Grade 1-2)

自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Let's Try1 Unit3	How many? 自分の好きなものがいくつあるのか、伝え合う。	自分が色を塗ったフルーツの数が同じ友達を探すために、インタビューをする。
Let's Try1 Unit5	What do you like? 食べ物やスポーツなどの好みについて伝え合う。	自分が好きなものを友達と伝え合い、クラスの人気ナンバーワンのスポーツや色を調べる。
Let's Try2 Unit7	What do you want? 欲しい食材などについて尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューについて伝え合う。	スペシャルピザを渡したい人のために、必要なトッピングをお店にもらいに行く。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

渡す人の好みに応じたスペシャルピザを作るために、友達にほしいトッピングを尋ねたり伝えたりする。

(2) 実施方法

- ① 3人組をつくり、ほしいトッピングを尋ねる人、伝える人、タブレットで撮影する人に分かれる。
- ② それぞれの役割で、言語活動をする。
- ③ 役割を交代する。
- ④ 言語活動と振り返りを総合的に判断し、評価する。

(3) 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は評価しない。	渡す人の好みに応じたスペシャルピザを作るために、学習した表現を適切に使いながら、ピザに乗せるトッピングについて伝え合っている。	相手の目を見ながら話したり、相手が伝えたことに対して肯定的に反応したりするなど、相手のことを思いやりながら伝え合おうとしている。
b		渡す人の好みに応じたスペシャルピザを作るために、学習した表現を用いて、ピザに乗せるトッピングについて伝え合っている。	自分の考えを伝えようとしていたり、伝えられたことに反応したりしながら、伝え合おうとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例2 【話すこと[やり取り]】 小5 3学期

～Junior Sunshine 5 Project 2 自分のことを伝えよう。～

1 3学期の話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO Grade 2-3)

自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Lesson 2	Lesson 2 When is your birthday? 好きな季節や誕生日について、尋ねたり答えたりすることができる。	友達と好きな季節について尋ね合う。
Lesson 5	Lesson 5 Where is your treasure? 宝物への道案内をすることができる。	グループをつくり、その中の友達を自分の宝箱へ道案内をする。
Project 2	Project 2 自分のことを伝えよう。 これまで学んだ英語を使って、自己紹介をすることができる。	自己紹介をしたり、友達の自己紹介を聞いて、知りたいことを質問したりする。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

誕生日やできること、好きなことなどを自己紹介し合い、相手のことをもっと知るために質問したり答えたりする。

(2) 実施方法

- ① 3～4人グループを作り、順番に自己紹介をする。残りのメンバーが聞き手となる。
- ② 自己紹介の後、聞き手だった児童が質問を行う。
(※ 自己紹介・やり取りの様子はタブレット端末で録画させる。)
- ③ 活動後、やり取りのビデオを見て、できたことや難しかったこと、友達についての気付きを振り返りとして書かせる。
- ④ やり取りの様子やビデオ、振り返りを総合的に判断し、評価する。

(3) 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は評価しない。	can・like を使って自己紹介をし、適切な表現を使いながら質問に即応的に答えて、やり取りを行っている。	相手を見て、聞き手の関心を引くような工夫をして話し、質問や回答を注意深く聞き取って、自分のことを伝えようとしている。
b		can・like を使って自己紹介をし、質問に合った内容を答えて、やり取りを行っている。	相手を見て話し、質問を聞き取って、自分のことを伝えようとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例3 【話すこと[やり取り]】 小6 1学期

～NEW HORIZON Elementary 6 Unit 3 Let's go to Italy.～

1 1学期の話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 3-2)

日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Unit 1	Unit 1 This is me! 名前や好きなこと、誕生日などを伝え合い、自己紹介をすることができる。	ALT や友達に自分のことをもっとくわしく知ってもらうために、自己紹介シートを作り、紹介し合う。
Unit 2	Unit 2 How is your school life? 世界の子どもたちや自分たちの日常生活や宝物などについて伝えることができる。	日常生活や宝物についてインタビューしたことをもとに Who am I? を作り、クイズ大会をする。
Unit 3	Unit 3 Let's go to Italy. 行ってみたいおすすめの本国とその理由について伝え合うことができる。	調べたことをもとに おすすめの国カード(パワーポイント)を作り、紹介し合う。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

ALTに長崎についてよく知ってもらうために、修学旅行を思い出して長崎のおすすめを紹介する。

(2) 実施方法

- ① 修学旅行で訪れた長崎の観光地や名産が書かれた「ミッションカード」を受け取り、ALT にどんなことを話すか考える。
- ② 1人ずつ ALT や JTE と Unit1・2 で扱った表現(好きなことや誕生日、宝物等)でのやり取りをしたあと、長崎でできることや感想を伝える。
- ③ やり取りを通して考えたことや伝えるときに工夫したこと等を振り返りに記入する。
- ④ やり取りの様子や振り返りを総合的に判断し、評価する。

(3) 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	長崎でできることについて、You can go / see / eat / buy ～. It's ～. の表現を適切に用いて、考えや気持ちを伝え合うことができている。	長崎についてよく知ってもらうために、長崎で見られるものや食べられるもの、その感想などについて、相手の反応に応じて伝え合っている。	長崎についてよく知ってもらうために、長崎で見られるものや食べられるもの、その感想などについて、相手の反応を見ながら工夫して伝え合おうとしている。
b	長崎でできることについて、You can go / see / eat / buy ～. の表現を用いて、考えや気持ちを伝え合うことができている。	長崎についてよく知ってもらうために、長崎で見られるものや食べられるものなどについて伝え合っている。	長崎についてよく知ってもらうために、長崎で見られるものや食べられるものについて、伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例4 【話すこと[やり取り]】 中1 1学期

～New Horizon English Course 1～

1 1学期の話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 4)

身近な話題について、質問したり、答えたりすることができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Unit 1	友達と互いのことをよりよく知り合うために、自己紹介をすることができる。	グループ内で自己紹介を行う。(発表)
Unit 2	友達と互いのことをよりよく知り合うために、身近な人やものについて紹介したり尋ねたりすることができる。	グループ内で友達の紹介を行い、質問応答する。(発表、やり取り)
Unit 3	友達と互いのことをよりよく知り合うために、放課後の過ごし方について紹介したり尋ねたりすることができる。	「私の放課後レポート」を行い(発表)、質問応答を行う。(やり取り)
Unit 4 Unit 5	友達と互いのことをよりよく知り合うために、質問応答をすることができる。	「ピアインタビュー」を行う。(やり取り)
Stage Activity 1	自分の好きなことについて文章を書いたり、友達のことについて読んだりすることができる。	“All about Me” Poster を作成したり、友達のポスターに書いてあることについて感想を書いたりすることができる。(書くこと、読むこと)

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定

友達と互いのことをよりよく知り合うために、“All about Me” Poster を基にインタビューをし合う。

(2) 実施方法

- ① 授業中に活動したのと異なるグループのメンバーと “All about Me” Poster を読み合い、インタビューの内容を考える。(10分)
- ② インタビューを行う。(各5分)
 - ※ グループの中で、インタビューする人、インタビューされる人、撮影する人を交代させながら、全ての生徒のやり取りをタブレットに収めさせ、評価を行う。

(3) 条件

- ① “All about Me” Poster に書かれている内容を踏まえて、尋ねたり答えたりする。
(例: 好きな理由、活動している場所や時間、関連して他に好きなもの など)
- ② 友達をよく知るために必要な数の質問を行っている。
 - ※ 質問の数については、生徒の実態に応じて設定する。

(4) 採点の基準

評価規準		友達と互いのことをよりよく知り合うために、互いの自己紹介に基づいて質問・応答をすることができる。(話すこと[やり取り])	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	他の単元で評価を行う。	条件を満たしてやり取りし、書き手からのメッセージを踏まえて読み手から自分の考えや感想を伝えるなどしている。	条件を満たしてやり取りし、書き手からのメッセージを踏まえて読み手から自分の考えや感想を伝えるなどしようとしている。
b		条件を満たしてやり取りしている。	条件を満たしてやり取りしようとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(5) 留意点

- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」は、基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する。一方で、2つの条件を満たしてやり取りすることはできなかったが、しようとしている態度(例えば、聞き手に配慮しながら対話を継続しようとしている態度)が明らかに見られた場合、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に取り組む態度」は「b」にすることが考えられる。
- ・ 発話している英文はほぼ全てが不正確、不十分であるが、条件を満たしたやり取りはしていると判断して、「思考・判断・表現」を「b」と判断することが考えられる。正確さは、英語使用を繰り返す中で徐々に高まっていくことを十分に踏まえ、発話が不正確だからといって、発話内容を適正に評価しないということがないようにすることが重要である。「思考・判断・表現」の評価については、発話の不正確さなどに惑わされることなく発話内容から判断する。

事例5 【話すこと[やり取り]】 中2 2学期

～Sunshine English Course 2～

1 2学期の話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 8)

日常的な話題について、情報や気持ちを伝えたり、即興で相手の話に質問したりすることができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Our Project 4	ALT のために、ALT が興味のある国について、夢の旅行を企画することができる。	夢の旅行プレゼンテーションを行う。(発表、やり取り)
Program 4	クラスメートについてお互い知るために、一番自分にとって大切なものは何か、理由を含めて主張することができる。	・「愛、お金、健康、家族、友情」の中で一番大切なものは何か1つ選び、理由も含めて書く。(書くこと) ・グループで議論する。
Program 6	クラスメートについてお互い知るために、自分が好きな「本、絵、マンガ、建物」について 20 語程度で紹介することができる。	「Do you know this?」を作成し(書くこと)、紹介する(発表、やり取り)。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定

グループで「なりたい人物(生き方にあこがれる人)」を選び、協力し合って読み手にわかりやすいポスターを制作し、発表する。原稿内容には「職業、具体的な内容(エピソード)、その人物から学べる事、自分の気持ちなど」を含ませる。ポスターセッションでは、ほかのグループのポスターを読んで感想を言ったり、コメントをしたりする。

(2) 実施方法

4人グループでなりたい人物について原稿・ポスターを作成する。全部で6回発表を行い、前半3回、グループのうち2人が他のグループのところへ行き、発表・やり取りを行う。残った2人は他のグループの発表を聞く。後半3回は役割を交代する。発表を聞いた生徒は、即興で質問やコメントをする。発表者は質問に対して即興で答える。発表ややり取りの様子をタブレットに収め、あとで評価を行う。

(3) 採点の基準

評価規準	「なりたい人物」についてのスピーチを聞き、即興で質問やコメントをしたり、質問に対して答えたりすることができる。(話すこと[やり取り])		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	発表者に対して、発表の内容を踏まえた質問やコメントをしたり、質問者に対して1文付け加えて答えたりしている。	発表者に対して、発表の内容を踏まえた質問やコメントをしたり、質問者に対して1文付け加えて答えたりしようとしている。
b	少し誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で話すことができる。	発表者に対して、質問やコメントしたり、質問者の質問に答えたりしている。	発表者に対して、質問やコメントしたり、質問者の質問に答えたりしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(4) 留意点

- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」は、基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する。一方で、「b」を満たすことはできなかったが、しようとしている態度(例えば、聞き手に配慮しながら対話を継続しようとしている態度)が明らかに見られた場合、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に取り組む態度」は「b」にすることが考えられる。
- ・ 発話している英文はほぼ全てが不正確、不十分であるが、「b」に相当するやり取りはしていると判断して、「思考・判断・表現」を「b」と判断することが考えられる。正確さは、英語使用を繰り返す中で徐々に高まっていくことを十分に踏まえ、発話が不正確だからといって、発話内容を適正に評価しないということがないようにすることが重要である。「思考・判断・表現」の評価については、発話の不正確さなどに惑わされることなく発話内容から判断する。

事例6 【話すこと[やり取り]】 中3 3学期

～New Horizon English Course 3～

1 3学期の話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 12)

社会的な話題について聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを即興で述べ合うことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Unit 6、 Unit Activity	世界を人口 100 人の村だと仮定して、その現状について説明したり、自分の意見や感想を述べたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 世界の現状について聞いた内容のうち、特にほかの人に伝えたいことを説明する文を書く。(書くこと) 説明する文に、自分の意見や感想を加えて発表する。(発表)
Let's Talk 3	国産野菜と輸入野菜のどちらを買うのがよいか、賛成か反対かの理由を含めて主張することができる。	<ul style="list-style-type: none"> どちらを選ぶか理由を含めて書く。(書くこと) グループで議論する。
Stage Activity 3	“Japan is a good country to live in.”について、その理由を明確にしなが、ディベートすることができる。	論題についての意見を読み、賛成側、反対側の立場を決め、自分の立場を主張するメモを作り、ディベートを行う。(やり取り)

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

日本に移住することを考えている ALT が、下の記事に関して、どう考えたり感じたりするか、また互いの意見や感想についてどう思うかについて聞きたいと言っています。そこで、この記事を読み、友達とディベートをすることにしました。“Living in the Countryside”を読み、その内容に基づいてディベートをしてください。読む時間は3分です。

Living in the Countryside

I'm a high school student from Canada. I have lived in the countryside of Japan for three years.

There are many great things about the countryside. First, you will enjoy the beautiful nature. For example, you can go hiking in the mountain, or go fishing at the river. Also, people are very friendly. If you are in trouble, they will help you.

However, there are negative sides, too. For one thing, there are no big shopping malls. If you go there, it will take a long time.

People in the countryside use their cars. If you don't have your car, you should use buses which come only once an hour or two hours.

What do you think about living in the countryside?

(2) 実施方法

司会(2人)、審判(2人)、賛成側(3人)、反対側(3人)で、15分のディベートを行う。ディベートの様子は録画しておき、後日、教師による記録に残す評価をする時に活かす。

(3) 条件

- ① 自分の考えなどを理由とともに述べている。
- ② 相手の考えを求めたり、反論したりして、自分の考えを主張している。

(4) 採点の基準

評価規準	“Living in the Countryside”の記事を読んで、考えたことや感じたこと、その理由などを友達とディベートすることができる。(話すこと[やり取り])		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	複数の理由を提示したり、根拠を明確にして自分の考えを主張したりしながら、2つの条件を満たしてやり取りしている。	複数の理由を提示したり、根拠を明確にして自分の考えを主張したりしながら、2つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	2つの条件を満たしてやり取りしている。	2つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(5) 留意点

- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」は、基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する。一方で、2つの条件を満たしてやり取りすることはできなかったが、しようとしている態度(例えば、聞き手に配慮しながら対話を継続しようとしている態度)が明らかに見られた場合、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に取り組む態度」は「b」にすることが考えられる。
- ・ 発話している英文はほぼ全てが不正確、不十分であるが、条件を満たしたやり取りはしていると判断して、「思考・判断・表現」を「b」と判断することが考えられる。正確さは、英語使用を繰り返す中で徐々に高まっていくことを十分に踏まえ、発話が不正確だからといって、発話内容を適正に評価しないということがないようにすることが重要である。「思考・判断・表現」の評価については、発話の不正確さなどに惑わされることなく発話内容から判断する。

事例7 【話すこと[やり取り]】 高校①

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 8)

日常的な話題について、情報や気持ちを伝えたり、即興で相手の話に質問したりすることができる。

2 パフォーマンステスト問題

テーマを「ALT の先生と会話をしよう!」とし、日常的な話題について、話すこと(やり取り)のパフォーマンステストを実施する。主に、生徒は面接官からの質問に答える形式とする。

(生徒に事前に知らせておく内容)

① 以下の質問事項から2つ出題される。

Do you like to cook?

Do you like to watch TV?

Do you like to play sports?

Do you like to go shopping?

Do you like to eat out?

② 以下の質問事項から1つ出題される。

How old are you?

What is your favorite food?

What is your favorite subject?

When is your birthday?

Where do you live?

③ 即興の質問が1つ出題される。

(質問例)

What color do you like?

What time did you get up this morning?

What did you eat for breakfast this morning?

Who is your favorite singer?

Which do you like better, cats or dogs?

④ 以下の質問事項は必ず出題される。

What do you like to do in your free time?

3 実施方法

- ① 面接官と1対1でテストを行う。
- ② 面接官から質問される日常的な話題について、自分の気持ちや考えを伝える。
- ③ 4の採点の基準に沿って評価する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、4つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1:クローズドクエスチョンに答えている。

条件2:オープンクエスチョンに答え、自分の気持ちや考えを述べている。

条件3:即興のオープンクエスチョンに答え、自分の気持ちや考えを述べている。

条件4:「自由時間にすること」について述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	4つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行っている。	4つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行おうとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。	4つの条件を満たしてやり取りを行っている。	4つの条件を満たしてやり取りを行おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例8 【話すこと[やり取り]】 高校②

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 9)

日常的な話題について、理由を示して情報や気持ちを伝えたり、即興で相手の話に質問したり、即興で質問に答えたりすることができる。

2 パフォーマンステスト問題

テーマを「留学生に積極的に話しかけよう！」とし、日常的な話題について、話すこと(やり取り)のパフォーマンステストを実施する。主に、生徒が面接官に質問する形式とする。

(生徒に事前に知らせておく内容)

① 以下の事項から2つ選んで面接官に質問する。また、面接官から同じ質問がされるので、その質問に答える。

What is your favorite food / subject / color?

How many brothers and sisters do you have?

Who is your favorite singer?

What kind of sport / movie / music do you like?

How many people are there in your family?

Where do you live?

How do you come to school?

When is your birthday?

② 即興で面接官に1つ質問する。

③ 面接官からの以下の質問に答える。

What do you want to be in the future? Why?

3 実施方法

① 面接官と1対1でテストを行う。

② 面接官に日常的な話題について質問する。また、同じ内容の質問を面接官が生徒に行い、生徒はその質問に関して、自分のことについて答える。最後は面接官から1つ生徒に質問し、生徒はそれに答える。

③ 4の採点の基準に沿って評価する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、3つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: オープンクエスチョンを面接官に質問し、また、面接官からの同じ質問に答えている。
条件2: オリジナルのオープンクエスチョンを面接官に質問し、また、面接官からの同じ質問に答えている。
条件3: 将来の夢とその職業に就きたい理由を述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	3つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行っている。	3つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行おうとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。	3つの条件を満たしてやり取りを行っている。	3つの条件を満たしてやり取りを行おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例9 【話すこと[やり取り]】 高校③

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 9)

日常的な話題について、理由を示して情報や気持ちを伝えたり、即興で相手の話に質問したり、即興で質問に答えたりすることができる。

2 パフォーマンステスト問題

日常的な話題について、話すこと(やり取り)のパフォーマンステストを実施する。

- ① 自分に関する数字を1つ準備しておく。(年齢以外)
- ② 自分に関する事柄(趣味、好きなアーティスト、スポーツなど)を準備する。
- ③ 自分に関する時間を準備する。

3 実施方法

- ① ペアで活動をする。
- ② 上記の事柄が解答となるような質問をする。
- ③ (Tell me more.)によって情報や気持ちを伝えることができる。
- ④ 学習用 PC を用いて録画。(時間が許せばペアを変えて何度も繰り返す)
- ⑤ 4の採点の基準に沿って評価する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、3つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

- 条件1: オープンクエスチョンを使って、相手に質問をすることができる。
 条件2: クローズドクエスチョンを使って、相手の気持ちを尋ねることができる。
 条件3: 相手の答えに関して、自分の気持ちも述べるすることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	3つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行っている。	3つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行おうとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。	3つの条件を満たしてやり取りを行っている。	3つの条件を満たしてやり取りを行おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5 やり取りの例

(例)

A: My number is 5.

B: How many brothers and sisters do you have?

A: I have 3. Not 5.

B: Hmm. How long have you played tennis?

A: I have practiced tennis for 5 years! That's my number.

B: OK. Tell me more.

A: I started to practice tennis when I was 10 years old. I really like Nishikori Kei. He is one of my favorite tennis players.

B: Wow. I love him, too. など

A は答えとなるものを準備。

B はそれについて、疑問文を用いて質問をしていく。会話をどれだけ広げることができるかを見ることができる。

事例10 【話すこと[やり取り]】 高校④

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 10)

日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えを伝えたり、即興で質問に答えたりすることができる。

2 パフォーマンステスト問題

日常的な話題について、話すこと(やり取り)のパフォーマンステストを実施する。ペアで下の3つのトピックのうちいずれかの1つの会話(A⇒B⇒A)をした後、その内容に沿って1分間会話を続ける。

(ア) トピック:「ランチ」

A: What would you like to have for lunch?

B: Anything is fine.

A: Let's go to an Italian restaurant, then.

(イ) トピック:「のどの痛み」

A: You don't look good. What's the matter?

B: My throat hurts.

A: Maybe you have a cold.

(ウ) トピック:「ピクニック」

A: Do you want to go on a picnic?

B: I'd love to.

A: Good. How about next Sunday?

3 実施方法

- ① 事前に生徒に上の(ア)～(ウ)のやり取り文が記載されたシートを配布する。ペアの組み合わせも事前に決めておく。
- ② 授業を使用して、ペアで(ア)～(ウ)のやり取りの練習をする。
- ③ パフォーマンステストの時間は、ペアで一組ずつ実施。ペアは(ア)～(ウ)のいずれかのトピックで会話をするように指示され、スタートの合図で会話(やり取り)を始める。

4 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	相手の質問に応じてやり取りを継続した上で、関連する情報や自分の考え、気持ち等を詳しく話して伝え合っている。	相手の質問に応じてやり取りを継続した上で、関連する情報や自分の考え、気持ち等を詳しく話して伝え合おうとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。	相手の質問に応じてやり取りを継続しながら、関連する情報や自分の考え、気持ち等を話して伝え合っている。	相手の質問に応じてやり取りを継続しながら、関連する情報や自分の考え、気持ち等を話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例11 【話すこと[やり取り]】 高校⑤

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 10)

日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えを伝えたり、即興で質問に答えたりすることができる。

2 パフォーマンステスト問題

単元の Speaking Skills 終了後に話すこと(やり取り)のパフォーマンステストを実施する。

※1 使用教科書:CAMBRIDGE EXPERIENCE 1(ケンブリッジ大学出版局)

※2 使用する問題は次ページにあります。

3 実施方法

ALT に試験の指示を出してもらい、教師はペアでのやり取りの様子を評価表で評価する。

テストの流れ

- ① まず、ペアで Student A と Student B のそれぞれの役割に分かれ、それぞれ英語で指示の書かれた紙を渡されるので指示に従って英語でやり取りをする。
- ② 1a Student A が紙に書かれている単語を使って質問を作り、Student B に尋ねる。Student B は A の質問に英語で答える。
- ③ 1b 次に役割を交代し、B が質問を作って尋ね、A はそれに答える。
- ④ 2a Student A は紙に書かれた英語を使って B に質問し、与えられた情報をもとに1分間会話を続ける。
- ⑤ 2b Student B は紙に書かれた英語を使って A に質問し、与えられた情報をもとに1分間会話を続ける。

4 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は評価しない。	相手の発話に応じてやり取りを継続するとともに、具体的かつ詳細な理由等を示しながら話して伝え合っている。	相手の発話に応じてやり取りを継続するとともに、具体的かつ詳細な理由等を示しながら話して伝え合おうとしている。
b		相手の発話に応じてやり取りを継続し、話して伝え合っている。	相手の発話に応じてやり取りを継続し、話して伝え合おうとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

STUDENT A

1a Ask the questions using the prompts and listen to Student B's answers.

A What / you / in your free time?

B ...

A Sorry / repeat / that?

B ...

A How / often ...?

B ...

A Why / you / like ...?

B ...

1b Now listen to Student B's questions and answer them.

2a Use the prompts to make a question for Student B. Then use the question words to continue the conversation.

What / you / do / after dinner?

Where ...? ■ When ...? ■ How often ...? ■ Why ...?

2b Now answer Student B's questions. Try to talk for one minute.



STUDENT B

1a Listen to Student A's questions and answer them.

1b Now ask the questions using the prompts and listen to Student A's answers.

B How often / you / watch TV or Youtube video?

A ...

B When / watch?

A ...

B What / favourite?

A ...

B Sorry / not understand / say / again please?

A ...

2a Answer Student A's questions. Try to talk for one minute.

2b Use the prompts to make a question for Student A. Then use the question words to continue the conversation.

What / you / do / in the morning on the weekend? Where ...? ■ When ...? ■ How often ...? ■ Why ...

事例12 【話すこと[やり取り]】 高校⑥

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 13)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や考えについて、尋ねたり、答えたり、相づちを打ったりすることができる。

2 パフォーマンステスト問題

即興でペアによる Small Talk を行う。

3 実施方法

- ① 授業で毎時間ウォームアップとして、5分程度 Small Talk を行う。
- ② パフォーマンステスト当日は、ペアをランダムに選び、Small Talk のテーマが書かれたカードを1枚ひく。(例: School Uniform / Online Classes / Club Activities)
- ③ 約1分間、カードに書かれたテーマについて、相づちを打ったり、相手の発言を繰り返したり、質問をしたりしながら、会話を続ける。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: 選んだテーマに基づき、大きく飛躍することなく会話を続けることができる。
条件2: 相づちや発言の繰り返し、質問等をしながら、会話を続けることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は評価しない。	2つの条件を満たし、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に使いながらやり取りを行っている。	2つの条件を満たし、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に使いながらやり取りを行おうとしている。
b		2つの条件を満たしてやり取りを行っている。	2つの条件を満たしてやり取りを行おうとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例13 【話すこと[やり取り]】 高校⑦

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 13)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や考えについて、尋ねたり、答えたり、相づちを打ったりすることができる。

2 パフォーマンステスト問題

トピック:

- ① This school has a 45-minute lunch break. Do you think that this school should have a longer lunch break?
- ② This school has summer seminar. You have classes from the end of July to August. Do you think that this school should stop the summer seminar?
- ③ Now, you live with your parents or grandparents. Do you want to live alone in the future?
- ④ What is an important thing in your life? Tell me one thing or person that is important to you.

3 実施方法

1グループ4人程度で、その場で上記から1つのトピックを与え、自分の立場(意見)と first / second reason と support sentence をメモ程度(箇条書き)書かせる。それをもとに別紙の形式に従ってディスカッションを進める。

※一週間程度の期間をとって実施する。

4 評価の基準

次の採点の基準に沿って評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1:意見は、与えられたトピックに関連することである。
条件2:前の生徒の要約をし、自分の意見を述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら、自分の考え等を詳しく話して伝えている。	2つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら、自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、容易な語彙や表現を使って伝えている。	2つの条件を満たして、自分の考え等を話して伝えている。	2つの条件を満たして、自分の考え等を話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例14 【話すこと[やり取り]】 高校⑧

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 14)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や考えについて、尋ねたり、答えたりしながら、会話を継続することができる。

2 パフォーマンステスト問題

教科書本文[New Rays English Communication I (いいずな書店)]をベースに、生徒 A は教科書の登場人物、生徒 B は質問者(interviewer)になり、英語でやり取りを行う。質問者は、事前にクラスで決めた5つの質問の中から4問と自分で考えたオリジナルの質問を1つ準備しておく。登場人物役の生徒はどの質問が聞かれるか分からない。

3 実施方法

- ① 個人で教科書の本文に関する質問を5つ考えてきて、グループで共有する。各グループで質問を1つ選び、黒板に板書する。板書された10の質問の中から、クラスの質問を5つ選び、その答えをペアで作成する。また、クラスの質問5つ以外のオリジナルの質問も準備する。
- ② 前時に作成した質問と答えを使って、ペアや役割を交代しながら、やり取りの練習を行う。
- ③ 当日は生徒 A、生徒 B をランダムに選び、やり取りの様子を観察し、4の採点の基準に沿って評価を行う。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: インタビューの場面において、質問の内容を理解し、授業で学んだ語いや表現を活用しながらやり取りを行うことができる。

条件2: 準備していない即興の質問にも、臨機応変に対応し、回答することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行っている。	2つの条件を満たした上で、コミュニケーションを円滑にするための表現等を効果的に用いながらやり取りを行おうとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って伝えている。	2つの条件を満たしてやり取りを行っている。	2つの条件を満たしてやり取りを行おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例15 【話すこと[やり取り]】 高校⑨

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 15)

社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことをもとに、相手の気持ちを聞いたり、聞いた内容などを論理性に注意して伝え合うことができる。

2 パフォーマンステスト問題

教科書本文[ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I (東京書籍)]に関連する社会的または日常的な話題について、単元の最後に話すこと[やり取り]のパフォーマンステストを実施する。

(生徒に事前に知らせておく内容)

- ① 読み上げられる教科書 Unit 1 または Unit 3 の英文(1～2文)について、自分の考えを述べる。
制限時間は1分～1分半
- ② ①の意見についての追加の質問に答える。制限時間は1分～1分半
※いずれも準備の時間は設定しない。

(評価の観点)

教科書で聞いたり、読んだりした内容に関して、自分の意見を理由や具体例を添えて話して伝えることができる。

提示する英文の例

You read an article from Lara's school newspaper. (教科書のどの部分かのヒントとなる文)

It says, "Every second of the day, as we go about our daily lives, the world around us changes."

(本文から1～2文抜き出す) What do you think about this statement? (問いの文は同じ)

本文の例: "We make enough to feed everyone on the planet. However, every second, 0.3 people around the world starve to death."

"We will be setting up new trash cans around the school."

"The students also held a fundraising drive to help the school install solar panels on the roof."

3 実施方法

- ① 生徒は、教師から提示された文に対して、自分の意見を1分～1分半で述べる。メモをとることはできない。
- ② ①の意見に対して、教師は関連する追加の質問をし、生徒はそれに1分～1分半で答える。追加の質問は①の具体例を引き出したり、①の反論を与えて論駁させたりするなど、話を深める手助けとなるような内容とする。
- ③ テスト終了後、生徒は自己評価票に記入して提出する

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1:意見は、与えられた英文に関連することである。

条件2:理由や具体例を添えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を詳しく話して伝えている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って伝えている。	2つの条件を満たして、自分の考え等を話して伝えている。	2つの条件を満たして、自分の考え等を話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

✦ 事例16 【話すこと[やり取り]】 高校⑩

1 話すこと[やり取り]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 14~16)

※このパフォーマンステストは生徒が自身の能力に応じて3つの問題レベルから1つを選択することになっています。そのため、学習到達目標も3つ記載しています。

- (1) 日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や考えについて、尋ねたり、答えたりしながら、会話を継続することができる。(Grade 14)
- (2) 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことをもとに、相手の気持ちを聞いたり、聞いた内容などを論理性に注意して伝え合うことができる。(Grade 15)
- (3) 日常的な話題について、基礎的な語句や文法を用いて、出来事や気持ちを詳細に相手に伝えることができ、即興で質疑応答をすることができる。(Grade 16)

2 パフォーマンステスト問題

英検2次試験(準1級、2級、準2級)の問題を参考に、教員との1対1でのパフォーマンステストを行う。生徒に提示したルールについては以下のとおり。

Rules

Rule 1

You can choose the questions from the following: Level A(英検準1級), B(英検2級) and C(英検準2級).

Rule 2

You have **5 minutes** to answer questions you choose. When you choose Level A, you are given another minute.

Rule 3

Your teacher will repeat the question when you say “Sorry, I don’t understand the question.” or “Pardon?” If there is **silence for 3 seconds**, then the teacher will ask, “Do you want me to repeat the question?” and repeat it.

3 実施方法

- ① 問題の難易度A(英検準1級程度)、B(2級程度)、C(準2級程度)をそれぞれ3種類ずつ用意する。問題の構成については以下のとおり。
 - ・ picture description
 - ・ 短い passage についての質問
 - ・ 社会問題や身近な話題について意見を述べるような質問(英検2次試験の Q3、4 のような質問)
- ② 生徒にその場でA、B、Cの難易度を選ばせ、絵と passage のみがついた紙を渡し、質問を行う。
- ③ 自分の意見を述べるタイプの質問では、生徒の返答に対し教員側からさらに質問を行う。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1:与えられた絵の描写やストーリーの説明がおおむね理解できる程度に述べられている。

条件2:与えられた質問に対して、適切に自分の意見を述べている。

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えを詳しく述べて、やり取りを続けている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えを詳しく述べて、やり取りを続けようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。	2つの条件を満たしてやり取りを続けている。	2つの条件を満たしてやり取りを続けようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5 その他

実際の成績に反映する際には、評価を数値化し、問題レベルCを選んだ場合を1として、Aを選んだ生徒は得点を1.4倍、Bを選んだ生徒は得点を1.2倍とした。

事例17 【話すこと[発表]】 小4 3学期

～Let's Try! 2 Unit 9 This is my day.～

1 3学期の話すこと[発表]の学習到達目標(CAN-TRY リスト Grade 1-3)

日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Unit 8	This is my favorite place. 相手に配慮しながら、自分の気に入っている場所について、発表することができる。	学校内の好きな場所について理由をそえて紹介する。
Unit 5	Do you have a pen? 相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について、発表することができる。	身近な人のために文房具セットを作り、紹介する。
Unit 9	This is my day. 相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応することができる。	相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応を返す。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

- ・ 学級の友達に自分のことをよりよく知ってもらうために、学校生活を振り返り、日常生活に関する身近で簡単な物事(遊び・文房具・食材・場所等)について、紹介する。
- ・ 簡単な語句や基本的な表現(I like ～、I want ～、My favorite place is ～等)を用いて発表する。

(2) 実施方法

- ① 自分の好きな事柄(遊び・文房具・食材・場所等)についてポスターや写真、実物などを用意し、発表原稿を考える。
- ② 3～4人グループを作り、発表する。(※ 発表の様子は録画する。)
- ③ 活動後、自分の発表するビデオを見て、できたことや難しかったこと、友達についての気づきを振り返りとして書かせる。
- ④ 発表の様子やビデオ、振り返りを総合的に判断し、評価する。

(3) 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は 評価しない。	自分の好きな物事についての紹介に簡単な自分の思いを加え、話す速さや抑揚に気を付けて、ポスター等を示しながら発表している。	自分の好きな物事についての紹介に簡単な自分の思いを加え、ポスター等を示しながら発表しようとしている。
b		自分の好きな物事についての紹介に簡単な自分の思いを加え、聞き取りやすい速さで、ポスター等を示しながら発表している。	自分の好きな物事について、ポスター等を示しながら発表しようとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例18 【話すこと[発表]】 小5 3学期

～Junior Sunshine 5 Lesson 9 I love my town.～

1 3学期の話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO Grade 2-3)

身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Lesson 4	Lesson 4 Can you do this? 自分の「できること、できないこと」を発表することができる。	自分のプロフィールカードを作り、発表する。
Lesson 8	Lesson 8 What would you like? 特別な人へのランチメニューを作り、発表することができる。	特別な人を決め、その人のためのランチメニューを考え、発表する。
Lesson 9	Lesson 9 I love my town. 「自分の町しょうかい」をすることができる。	グループを作って発表内容と方法を考え、「自分の町」を発表する。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

自分の町の特産物や名所、自然などを見つけて紹介するため、友達に生産数や標高、長さなど具体的な数を入れて発表する。

(2) 実施方法

- ① 3～4人グループを作り、自分の町を調べ、ポスターや写真、実物などを用意して、発表する。
(※ 発表の様子は録画する。)
- ② 活動後、自分の発表するビデオを見て、できたことや難しかったこと、友達についての気づきを振り返りとして書かせる。
- ③ 発表の様子やビデオ、ふりかえりを総合的に判断し、評価する。

(3) 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は評価しない。	町の良さを伝える表現を使って話し、話す速さや間、抑揚に気を付けて発表したり、問いかけたりしている。	相手を見て、ジェスチャーやポスターを指し示すなどの工夫や聞き手の関心を引く工夫をし、町の良さを伝えようとしている。
b		町の良さを伝える表現を使って話し、聞き取りやすい速さで、発表している。	相手を見て、町の良さを伝えようとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例19 【話すこと[発表]】 小6 2学期

～NEW HORIZON Elementary 6 Unit 6 Let's think about our food.～

1 2学期の話すこと[発表]の学習到達目標(CAN-DO リスト Grade 3-2)

日常生活に関する身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表することができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Unit 4	Unit 4 Summer Vacations in the World 夏休みの思い出について伝え合うことができる。	「夏休み思い出日記」を書き、したことや食べたものを紹介し合う。
Unit 5	Unit 5 We all live on the Earth. 地球に暮らす生き物について考え、生き物同士のつながりを伝えることができる。	調べたことをもとにグループで「フードチェーンポスター」を作り、紹介する。
Unit 6	Unit 6 Let's think about our food. 食材を通じて世界とのつながりを考え、自分と世界とのつながりを伝えることができる。	身の回りのものから世界とのつながりを探し、日本と世界の良さを合体させた「オリジナルメニュー」を紹介する。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

世界と日本のつながりを紹介するために、日本と世界の良さを合体させたオリジナルメニューを考え、発表する。

(2) 実施方法

- ①世界の料理や食材、日本の料理や地元の食材を調べ、オリジナルメニューを考える。
- ②グループを作り、考えたオリジナルメニューを発表する。(※発表の様子は録画する。)
- ③活動後、互いの発表を通して考えたことや気づいたこと、話すときに工夫したこと等を振り返りに記入する。
- ④発表の様子や動画、振り返りを総合的に判断し、評価する。

(3) 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は評価しない。	世界と自分のつながりを紹介するために、食べ物とその産地などについて、選んだ理由や魅力をつけ加えて発表している。	世界と自分のつながりを紹介するために、食べ物とその産地などについて、伝わっているか確認したり問いかけたりしながら工夫して話そうとしている。
b		世界と自分のつながりを紹介するために、食べ物とその産地などについて発表している。	世界と自分のつながりを紹介するために、食べ物とその産地などについて話そうとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例20 【話すこと[発表]】 中1 2学期

～New Horizon English Course 1 Unit 6 A Speech about My Brother～

1 2学期の話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO Grade 5)

身近な人や好きな有名人、尊敬する人などについて、自分の気持ちを含め紹介することができる。

2 本単元で学習した内容

次	各次における学習計画	主な言語活動
第1次	小学校6年生にわかりやすく A 中学校の先生を紹介するために事前調査をしよう①	A 中学校の先生にインタビューを行うための、質問を考える。
第2次	小学校6年生にわかりやすく A 中学校の先生紹介文を作成しよう②	A 中学校の先生にインタビューを行い、それをまとめる。(やり取り)
第3次	ミニ発表会を行い、改善点を出し合おう	グループでプレ発表会を行い友だちの発表に質問したりする。(発表、やり取り)
第4次	小学校6年生にわかりやすく A 中学校の先生を紹介するムービーを作成しよう。	第3次での発表をもとに、紹介の方法などを工夫して、6年生に送る紹介ムービーを作成する。(発表)

※A 中学校:自分が通っている中学校

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

例年小学校6年生とその保護者に向けて行われていた次年度に向けた入学説明会が、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となっている。そこで、次年度本校に入学予定の小学6年生に向けて、A 中学校の先生を紹介するムービーを作成する。小学校6年生が理解でき、A 中学校に入学したいと思ってもらえるような動画にするためには、どんな工夫が必要かなどを考えたり、ムービーの作成前にミニ発表会を行いそこで意見を出し合ったりして、よりよいムービーを作成する。

(2) 実施方法

- ① A 中学校の先生を選び、その先生に何を質問するかインタビューの内容をペアで考える。
- ② 実際にインタビューを英語で行い、その回答をもとに紹介文を作成する。(三人称単数形肯定文・否定文)
- ③ ミニ発表会では、ペアで作成した紹介文をそれぞれが別のグループ内において個人で発表をする。
- ④ 聴者はその発表から質問をする。(三人称単数形疑問文)
- ⑤ 発表会の後、発表の内容や態度の改善点を加筆・修正して小学校6年生に向けたムービーを作成する。

(3) 条件

本単元を通して指導したことを踏まえ、条件を踏まえて評価する。「思考・判断・表現」については、次の3つの条件を満たしていれば b(おおむね満足できる)としている。

- ① インタビューの内容を踏まえて話している。
- ② その先生についての自分たちの印象を述べている。
- ③ 写真を提示したり、身振り・手振りを行ったりして、小学生に伝わりやすいスピーチを行っている。

(4) 採点の基準

評価規準	小学校6年生がわかりやすいように工夫して A 中学校の先生を紹介することができる。 (話すこと[発表])		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	単元を通して評価する。	3つの条件を満たし、聞き手が理解しやすい声量やスピードで発表を行っている。	3つの条件を満たし、聞き手が理解しやすい声量やスピードで発表を行おうとしている。
b		3つの条件を満たして、発表を行っている。	3つの条件を満たして発表を行おうとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(5) 留意点

- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」は、基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する。一方で、3つの条件を満たして発表することはできなかったが、しようとしている態度（例えば、聞き手に配慮しながら発表しようとしている態度）が明らかに見られた場合、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に取り組む態度」は「b」にすることが考えられる。
- ・ 発話している英文はほぼ全てが不正確、不十分であるが、条件を満たした発表はしていると判断して、「思考・判断・表現」を「b」と判断することが考えられる。正確さは、英語使用を繰り返す中で徐々に高まっていくことを十分に踏まえ、発話が不正確だからといって、発話内容を適正に評価しないということがないようにすることが重要である。「思考・判断・表現」の評価については、発話の不正確さなどに惑わされることなく発話内容から判断する。

事例21 【話すこと[発表]】 中2 1学期

～Sunshine English Course 2～

1 1学期の話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 7)

日常的な話題について、自分の意見や理由を加え、視覚情報を活用して即興で話すことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Program 1	外国人に自分の住んでいる地域を知ってもらうために、自分が住んでいる地域のおすすめについて、理由や具体的な内容とともに書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ALT に対して、地域のおすすめを伝える。(発表) 伝えた内容を書き(書くこと)、ALT の家族や知り合いに読んでもらう。
Program 2	互いの思いをよりよく知り合うために、自分たちの考えた「夢の学校」について、伝え合うことができる。	「夢の学校」について自分の考えを整理しながら相手に伝え、質問・応答し合う。(やり取り)
Program 3	互いの思いをよりよく知り合うために、将来なりたい職業について、理由とともに自分の考えを伝えあったり、夢を実現するために必要なことについて書いたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 将来なりたい職業について自分の思いを伝え合う。(やり取り) 頑張りたいことをまとめ(書くこと)、互いに読み合っ(読むこと)、コメントを交換する。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定

ペアで夢の旅行を企画し、それぞれが地図や写真を使ってわかりやすいプレゼンテーションを行う。よりよい企画となるように、質疑応答を交えながら進める。カードやメモ程度で堂々と発表できるようにする。今まで習った文法や文のつながりを駆使して、自分たちでスケールの大きな海外旅行を企画し、発表する。

(2) 実施方法

各ペア全体の前で、パワーポイントを使いながら発表を行う。発表の後、質問・コメントの時間を設ける。発表を聞いている生徒は「*Mastery, Pronunciation, Voice, Eye Contact」のポイントで評価を行う。最後は、全体の取組の中から「プレゼンテーションが上手だったペア」BEST5を評価しあう。

(脚注) *Mastery 英文を完全に覚えていること、内容を理解して自信を持って自己表現できていること。

(3) 採点の基準

評価規準	ALT に自分たちの考えた「夢の旅行」について伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチをすることができる。(話すこと[発表])		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	他の単元で評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ALT の関心に沿った内容でスピーチが作れている。 より良くスピーチを伝えるために、発表に工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4つの評価ポイント意識しながら発表しようとしている。 工夫してスピーチ練習に取り組んでいる。
b		ALT の関心に沿った内容でスピーチが作れている。	4つの評価ポイントをだいたい意識しながら発表しようとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(4) 留意点

- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」は、基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する。一方で、「b」を満たして発表することはできなかったが、しようとしている態度(例えば、聞き手に配慮しながら発表しようとしている態度)が明らかに見られた場合、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に取り組む態度」は「b」にすることが考えられる。
- ・ 発話している英文はほぼ全てが不正確、不十分であるが、条件を満たした発表はしていると判断して、「思考・判断・表現」を「b」と判断することが考えられる。正確さは、英語使用を繰り返す中で徐々に高まっていくことを十分に踏まえ、発話が不正確だからといって、発話内容を適正に評価しないということがないようにすることが重要である。「思考・判断・表現」の評価については、発話の不正確さなどに惑わされることなく発話内容から判断する。

事例22 【話すこと[発表]】 中3 1学期

～New Horizon English Course 3～

1 1学期の話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 10)

日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えを伝えたり、即興で質問に答えたりすることができる。

2 本単元の学習内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Stage Activity 1	クラスメートや後輩に部活動や委員会などの活動について知ってもらうためにこれまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	<ul style="list-style-type: none">・ 報告したいことをメモに書き出し、メモをもとに30秒程度で即興で話す。(発表)・ 即興で話したことを書き出し、グループで発表をよりよくするためにアドバイスをしたり、もっと知りたいことを尋ねたりして伝え合う。・ 伝え合ったことをもとに、原稿を書き直す。(書くこと)・ 互いの原稿を読み、アドバイスをする。・ 原稿を見ずにメモだけを使って発表する。(発表)

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

部活動や委員会・係などの活動に一区切りがつく時期を迎え、来年3年生になる後輩のために活動報告をすることになりました。これまでの経験をふり返り、後輩へのメッセージも加えて報告しましょう。

(2) 実施方法

- ① 4人程度のグループに分け、各グループに一人一台端末を用意する。
- ② 発表を録画する。
- ③ 後日、録画したものを視聴して記録に残す評価を行う。

(3) 条件

本単元を通して指導したことを踏まえ、条件を踏まえて評価する。「思考・判断・表現」については、次の2つの条件を全て満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

- ① 友達からのアドバイスを基に、活動の内容を報告する。
- ② 後輩にメッセージを伝える。

(4) 採点の基準

評価規準		来年3年生になる後輩のために、部活動や委員会・係などの活動報告や自分の考えを、後輩へのメッセージを加えて、伝えることができる。(話すこと[発表])	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用して話すことができる。	2つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく話している。	2つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく話そうとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話すことができる。	2つの条件を満たして話している。	2つの条件を満たして話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(5) 留意点

- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」は、基本的には「思考・判断・表現」と一体的に評価する。一方で、2つの条件を満たして発表することはできなかったが、しようとしている態度(例えば、聞き手に配慮しながら発表しようとしている態度)が明らかに見られた場合、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に取り組む態度」は「b」にすることが考えられる。また、生徒がより良いスピーチになるために、友達からのアドバイスを活かして話す工夫をしたか分かるように、振り返りシートの項目に「友達からのアドバイスを聞いて、より良い文章になるように取り組みましたか？」を入れておく。
- ・ 発話している英文はほぼ全てが不正確、不十分であるが、条件を満たした発表はしていると判断して、「思考・判断・表現」を「b」と判断することが考えられる。正確さは、英語使用を繰り返す中で徐々に高まっていくことを十分に踏まえ、発話が不正確だからといって、発話内容を適正に評価しないということがないようにすることが重要である。「思考・判断・表現」の評価については、発話の不正確さなどに惑わされることなく発話内容から判断する。

事例23 【話すこと[発表]】 高校①

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 8)

日常的な話題について、自分の伝えたいことや情報などを整理し、視覚情報を活用して即興で話すことができる。

2 パフォーマンステスト問題

クラス T シャツのデザインを考え、紹介する。

学校行事を盛り上げるために、英語のロゴが入ったおそろいのクラス T シャツのデザインを考え、発表しよう。なお、発表の際は以下の3つを含み、必要に応じてメモを参照しながら話しても構わない。

- ① T シャツの色とロゴの色
- ② 英語のロゴとその意味
- ③ そのロゴに込められた思い

3 実施方法

- ① T シャツのデザイン、英語のロゴとその意味、そのロゴに込められた思いを考える準備時間を 30 分与える。
- ② 1 枚の紙に、英語のロゴを含んだ T シャツのデザイン画を描く。《宿題》
- ③ 辞書を使用し、紹介する内容のキーワードをメモに取る時間を 10 分与える。
- ④ 5人程度のグループに分け、各グループに学習者用 PC 等を準備する。
- ⑤ グループ内で1人ずつデザイン画を見せながら発表し、録画する。
- ⑥ 録画したものを視聴して、4の採点の基準に沿って評価を行う。

4 採点の基準

次の採点の基準に沿って評価する。「思考・判断・表現」については、3つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

- 条件1:T シャツの色とロゴの色を述べている。
 条件2:英語のロゴとその意味を述べている。
 条件3:そのロゴに込められた思いを述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	3つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え、気持ち等を詳しく話して伝えている。	3つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え、気持ち等を詳しく話して伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。	3つの条件を満たして話して伝えている。	3つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例24 【話すこと[発表]】 高校②

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 8)

日常的な話題について、自分の伝えたいことや情報などを整理し、視覚情報を活用して即興で話すことができる。

2 パフォーマンステスト問題

次のトピックで2分以内のスピーチを行う。

トピック: Speak about your travel experience.

ただし、以下の2つの条件を含むこと。

条件1: どこで何をしたのかを話している。

条件2: その時の気持ちを話している。

3 実施方法

- ① 授業1時間を使い、準備する時間を与える。その際、電子黒板に提示するスライドを5枚以内で作成することも指示する。
- ② 次回の授業で1人ずつ教室前方で発表する。発表は1人2分以内。
- ③ 4の採点の基準に沿って、評価する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: どこで何をしたのかを話している。

条件2: その時の気持ちを話している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の気持ち等を具体的に話して伝えている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の気持ち等を具体的に話して伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5 参考表現集

あいさつ	<ul style="list-style-type: none">• Hello, everyone. How are you?
スピーチのはじまり	<ul style="list-style-type: none">• Today, I'm going to talk about my travel experience.• Now, I'm going to tell you my special experience.• Have you ever been to foreign countries?• I'll introduce my fantastic travel experience to you.
スピーチのおわり	<ul style="list-style-type: none">• If you like, you can go there too.• I hope you feel like going there.• How about going there with your friend?• Thank you for listening.

事例25 【話すこと[発表]】 高校③

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 9)

日常的な話題について、自分が伝えたいことや情報などを整理し、意見や理由を加えて即興で話すことができる。

2 パフォーマンステスト問題

次の英文(例文)を読んで、自分の国があるとすればどのような国旗を作成するかを考える。

This is the flag of Nepal. The shape of the flag is two triangles. It is the only flag in the world that is not a rectangle. The shape symbolizes the Himalayan Mountains. It also symbolizes Hinduism and Buddhism. They are the 2 big religions in Nepal.

There are also two symbols on the flag. They symbolize Nepal living as long as the Sun and the Moon.

There are two important colors. The first color is blue. This color outlines the flag. It symbolizes peace. The second color is red. It symbolizes bravery. This color is the national color of Nepal. It is also the color of Nepal's national flower.

3 実施方法

- ① 国旗のデザイン、形、色の意味を考える準備時間を与える。
- ② ALT から発表時に使う表現を例として出してもらう。
- ③ 学習者用 PC 等を準備する。
- ④ ONENOTE のシートを配布し、国旗を書く。
- ⑤ 電子黒板に投影したものを使って発表し、4の採点の基準に沿って評価する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: 自分の国の形の意味を述べている。

条件2: 国旗の色の意味を述べている。

	知識・技能		主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を具体的に話して伝えている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を具体的に話して伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none">・ 多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。・ 理解に支障のない程度の音声等で話している。	2つの条件を満たして話して伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5 留意点

例文の形を用いてもよいことにする。

事例26 【話すこと[発表]】 高校④

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 13)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や考えについて、基礎的な語句や定型表現を使用して、分かりやすく伝えることができる。

2 パフォーマンステスト問題

教科書本文[New Rays English Communication I (いいずな書店)]に関連する表現や話題について、単元の最後に話すこと(発表)のパフォーマンステストを実施する。

あなたは美術館のガイドとして見学ツアーを行います。見学ツアーでは、(教科書のデザインではなく)自分で紹介したいデザインを以下の4つのうちから1つ選び、英語で説明します。

- ① 機能的に使うことができるよう設計されているもの
- ② 一目見て使い方がわかるもの
- ③ 人間の行動に影響を与えるもの
- ④ 社会に影響を与えるもの

3 実施方法

- ① 紹介したいデザインを1つ選び、クラスメートがわかるような英語で説明する準備をする。その際、写真等を載せた簡易な PowerPoint(スライド)数枚を準備する。
※パフォーマンステスト前日までに、各自生徒用の所定のフォルダに学籍番号をつけて保存する。
- ② 授業内でグループになって、それぞれがタブレットの PowerPoint(スライド)を使いながら、自分の選んだデザインについて説明する。
 - ・ 発表順を決める。
 - ・ 1人4分の持ち時間のうち、約2分で紹介、残り時間で comment & feedback。
 - ・ 発表の際、原稿を見るのは禁止。
 - ・ グループでの発表が終わったら、残りの時間で原稿(スライド)の手直しや発表の練習を行う。
- ③ パフォーマンステスト当日は、教師から番号を指名されたら、クラスの前に立ち、電子黒板の PowerPoint(スライド)を使いながら、発表を行う。教師は4の採点の基準に沿って評価を行う。発表者以外の生徒も評価を行う。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、3つの条件を全て満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: 紹介するデザインが、①～④のいずれかの条件を満たしている。
条件2: デザインについて、名称や目的・用途など説明ができています。
条件3: デザインについて、PPT を使いながら、分かりやすい英語で説明ができています。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> 語彙や表現が適切に使用されている。 聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。 	3つの条件を満たした上で、自分が選んだデザインについて、関連した情報や自分の考え等を詳しく話して伝えている。	3つの条件を満たした上で、自分が選んだデザインについて、関連した情報や自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> 多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って伝えている。 理解に支障のない程度の音声等で話している。 	3つの条件を満たして話して伝えている。	3つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例27 【話すこと[発表]】 高校⑤

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 13)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や考えについて、基礎的な語句や定型表現を使用して、分かりやすく伝えることができる。

2 パフォーマンステスト問題

- 本の紹介(POP 作成)※漫画本も可。ただし校内読書会で読んだ本は不可。
- 本の中で印象に残ったフレーズや場面を POP で紹介する。

3 実施方法

- ① 紹介したい本を決める。
- ② 画用紙を使って POP を作成する。
- ③ グループ(4~6名程度)内で紹介する。(実物を持って紹介してもよい)
- ④ グループで一番いいものを決める。
- ⑤ グループで一番いいものを教室に一定期間(一週間ぐらい?)掲示する。
(本人の許可を得て)

※準備期間:POP 作成は1~2時間(完成できなかつたら自宅で)、あと1~2時間は紹介の英文作成。全体で1週間弱の時間を使用。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1:印象に残ったフレーズや場面の紹介をしている。
条件2:本を読んで思ったことやどんな人に読んでほしいのかを伝えている。

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
a	知識・技能は評価しない。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を詳しく話して伝えている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b		2つの条件を満たして話して伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例28 【話すこと[発表]】 高校⑥

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 14)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとにまとめた情報や考えについて、論理性に注意して伝えることができる。

2 パフォーマンステスト問題

My favorite thing について、food / place / sport / music / book のテーマの中から選び、50 語程度の原稿を作成し、スピーチ動画を作成してください。

3 実施方法

- ① スピーチの原稿作成の時間をとる。(1時間～2時間程度)
- ② 練習した後、各自の学習用 PC で自分のスピーチを録画する。(30 分程度)
- ③ 録画したものを所定の生徒用のフォルダに提出させ、それを回収し、録画されたものを視聴して、4の採点の基準に沿って評価を行う。
 - ・ 生徒には事前にスピーチの構成を練るためのワークシートや採点基準を提示する。
 - ・ 授業の中で動画を提出する時間を設ける。

4 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙や表現が適切に使用されている。 ・ 語や句、文における強勢やイントネーションなどの英語の発声の特徴をとらえ、正しく発音している。 	具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら、自分の考え等を詳しく話して伝えている。	具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら、自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って伝えている。 ・ 理解に支障のない程度の発音等で話している。 	自分の考え等を話して伝えている。	自分の考え等を話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例29 【話すこと[発表]】 高校⑦

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 14)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとにまとめた情報や考えについて、論理性に注意して伝えることができる。

2 パフォーマンステスト問題

- おすすめの本を紹介する。
- 長さは3～4分程度とする。
- ジャンル、登場人物、印象に残った文や場面などを紹介する(ただし、話のオチは言わないこと!)なぜ、その本を紹介しようと思ったのかを述べる。

3 実施方法

- ① 生徒に紹介したい洋書を決めさせる。(春休みなどの長期休みの課題として読ませる。)
- ② ALTIにモデルスピーチをしてもらい、原稿づくりに有用な表現(登場人物紹介など)を教える。
- ③ ペアで練習を行う。
- ④ 学習用 PC で本の紹介を録画させ、提出させる。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: 紹介する本の大まかな内容を述べている。

条件2: なぜ自分がその本を紹介しようと思ったのかを述べている。

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、聞き手に興味を持たせるような情報や自分の考え等を詳しく話して伝えている。	2つの条件を満たした上で、聞き手に興味を持たせるような情報や自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例30 【話すこと[発表]】 高校⑧

1 話すこと[発表]の学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 14)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとにまとめた情報や考えについて、論理性に注意して伝えることができる。

2 パフォーマンステスト問題

教科書本文[ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I (東京書籍)]に関連する社会的または日常的な話題について、単元の最後に話すこと(発表)のパフォーマンステストを実施する。

(生徒に事前に知らせておく内容)

- ① 教科書 Unit 1 の英文に関連して、1秒間に世界で起こっていることについてのクイズを作成する。
- ② パワーポイントスライドは1枚とし、内容に関連する写真やイラスト1枚と、クイズの選択肢3つの数字を載せる。
- ③ 発表の構成は、導入ークイズー関連する説明とする。

(評価の観点)

教科書で聞いたり、読んだりした内容に関して、別の具体的な事象をクイズ形式で紹介する。

3 実施方法(1クラス40人の場合)

- ① クラスを4人グループ10班に分ける。各グループのメンバーに A～D を振る。
1班～4班までの A、B、C、D 別に(5人グループ×4班)、及び5班～8班までの A、B、C、D 別に集める。(5人グループ×4班)A、B、C、D は専門家グループとし、与えられたテーマ(例 A:Nature B:Earth&Universe C:Money D:Economy)の異なる事象(例 A1:Rainforest trees cut down166 A2:Shars killed by men 3.17 A3:Men killed by sharks 0.000000386 A4:A bee flaps its wings 270 times など6つ準備する)についてクイズを作り、スライドの準備をする。
表現などについての疑問点は専門家グループ内で協力し解決を図る。
※この形式はジグソー活動の形式と同じです。
※1秒間に世界で起こっていることのテーマと事象は omni CALCULATOR を利用した。
- ② 専門家グループ内でプレゼンテーションのリハーサルを行う。
- ③ 各自のグループに戻り、プレゼンテーションを行う。
- ④ 後日、プレゼンテーションは各自で動画に撮って提出する。
- ⑤ 録画された内容を観察し、4の採点の基準に沿って評価する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: 1秒間に世界で何が起きているかについて説明している。

条件2: 条件1の内容について、自分の意見を述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を詳しく話して伝えている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えている。	2つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

事例31 【書くこと】 中1 3学期

～New Horizon English Course 1～

1 3学期の書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 6)

身近な事柄について、文章構成を意識してまとまりのある文章を正確に書くことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Unit 6 Unit 7	互いのことをよりよく知るために、友達の紹介や質問応答することができる。	友達の紹介スピーチ(発表)
Stage Activity 1	自分のことをよりよく知らせるために、自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。	“All about Me” Poster を作成(書くこと)し、グループで紹介し合う。(発表、やり取り)
Unit 9	地球規模の問題について考えるために、したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。	“Think Globally, Act Locally” Poster を作成(書くこと)し、紹介し合い(発表、やり取り)、校内に掲示する。
Stage Activity 2	互いのことをよりよく知るために、好きな有名人や尊敬する人についてたずねたり、説明したりすることができる。	My Hero について発表した内容を、文章にまとめる。(書くこと)
Unit 11	互いのことをよりよく知るために、過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。	正月の思い出を紹介し合い(発表)、紹介した内容を「思い出日記」にまとめる。(書くこと)
Stage Activity 3	互いのことをよりよく知るために、思い出に残った学校行事について発表することができる。	My Favorite Event について写真を見せながら紹介(発表)し、質問応答(やり取り)を行う。また、発表した内容を文章にまとめ(書くこと)、掲示する。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定

「私(教員)や ALT の〇〇先生は一年間1年〇組の皆さんと一緒に勉強してきて、皆さんのいいところや成長したところをたくさん見てきました。しかし、先生たちには見えていないこともまだまだあるでしょう。この一年間の学校行事の中で、あなたが一番頑張っていると思った友達について、あなたが思ったことを加えて先生たちに紹介してください。」

(2) 採点の基準

評価規準		友達の頑張りを ALT によりよく知ってもらうために、友達の具体的な行動や姿を書くことができる。(書くこと)	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	他の単元で評価を行う。	紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿などの事実及び自分の思いについて、構成をまとめながら書いている。	紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿などの事実及び自分の思いについて、構成をまとめながら書こうとしている。
b		紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿について、構成をまとめながら書いている。	紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿について、構成をまとめながら書こうとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(3) 留意点

- ・ 学年末考査実施後、成績が確定した後の時期の実施となる可能性もあるが、1年間の総まとめとして取り組むことが考えられる。或いは、同様の視点のパフォーマンステストについて、Stage Activity 2 や Unit 11 に関連させて取り組ませることで、書くことに関する学年末の評価を行うことができる。
- ・ 「思考・判断・表現」においては、まとまりのある文章を書き、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に書いているかどうかで判断する。
- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」においては、読み手を意識して書こうとしているかで判断する。また、各単元の観察結果を加味しつつ、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。

事例32 【書くこと】 中1 3学期

～Sunshine English Course 1～

1 3学期の書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 6)

身近な事柄について、文章構成を意識してまとまりのある文章を正確に書くことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Program 5	互いのことをよりよく知るために、友達の紹介や質問・応答することができる。	友達の紹介スピーチ(発表)、質問・応答(やり取り)及び紹介文作成(書くこと)
Program 6	互いのことをよりよく知るために、お気に入りの人物について理由を含めて説明し合うことができる。	ペアを組み、互いのお気に入りの人物について質問・応答し合う。(やり取り)
Our Project 2	互いのことをよりよく知るために、紹介したい人について、情報を整理しながら話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内でマッピングを基に、紹介したい人について発表し合う。(発表) ・ 話した内容を書き(書くこと)、他のグループと交換して読み合い(読むこと)、コメントを伝え合う。
Program 9 Program 10	互いのことをよりよく知るために過去にしたことについて伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思い出に残った学校行事についてスピーチを行い(発表)、質問・応答をする。(やり取り) ・ 話した内容を書き(書くこと)、他のクラスと交換して読み合い(読むこと)、コメントを伝え合う。

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定

「私(教員)や ALT の〇〇先生は一年間1年〇組の皆さんと一緒に勉強してきて、皆さんのいいところや成長したところをたくさん見てきました。しかし、先生たちには見えていないこともまだまだあるでしょう。この一年間の学校行事の中で、あなたが一番頑張っていると思った友達について、あなたが思ったことを加えて先生たちに紹介してください。」

(2) 採点の基準

評価規準	友達の頑張りを ALT によりよく知ってもらうために、友達の具体的な行動や姿を書くことができる。(書くこと)		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文を書くことができる。	紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿などの事実及び自分の思いについて、構成をまとめながら書いている。	紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿などの事実及び自分の思いについて、構成をまとめながら書こうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障がない程度の英文を書くことができる。	紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿について、構成をまとめながら書いている。	紹介する友達や学校行事、具体的な行動や姿について、構成をまとめながら書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(3) 留意点

- ・ 本資料では、Program 10 が終了した後の実施を想定している。進捗状況により、学年末考査実施後、成績が確定した後の時期の実施となる可能性もあるが、その場合は、1年間の総まとめとして意識づけして取り組ませることが考えられる。或いは、同様の視点のパフォーマンステストについて、Program 9に関連させて取り組ませることで、書くことに関する学年末の評価を行うことも考えられる。
- ・ 「知識・技能」においては、語彙や文法など、英語の特徴や決まりに関する事項を理解しているか(知識)や、基本的な語句や文を用いてコミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、事実や自分の考えを整理して正確に書いて伝える技能を身に付けているか(技能)で判断する。
- ・ 「思考・判断・表現」においては、まとまりのある文章を書き、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に書いているかどうかで判断する。
- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」においては、読み手を意識して書こうとしているかで判断する。また、各単元の観察結果を加味しつつ、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。

事例33 【書くこと】 中2 3学期

～Sunshine English Course 2～

1 3学期の書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 9)

日常的な話題について、自分が伝えたいことや情報などを整理し、意見や理由を加え、まとまりのある文章を書くことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Program 4	お互いのことをよく知るために、一番自分にとって大切なものは何か、理由を含めて主張することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 「愛、お金、健康、家族、友情」の中で一番大切なものは何か1つ選び、理由も含めて書く。 グループで議論する。
Program 6	お互いのことをよく知るために、自分が好きな「本、絵、マンガ、建物」について 20 語程度で友達に紹介することができる。	「Do you know this?」を作成し(書くこと)、紹介する(発表、やり取り)。
Our Project 5	お互いのことをよく知るために、グループで「なりたい人物」を選び、ポスターセッションすることができる。	「なりたい人物」についてのスピーチを聞き、即興で質問やコメントをしたり、質問に対して答えたりする。(書くこと、発表、やり取り)
Steps 5	クラスメートに説得力のある主張をするために、事実や理由を添えて自分の考えを伝えることができる。	「夏派・冬派」「都会派・田舎派」というテーマに沿って、自分の意見を主張したり、相手の意見に反論したりする。(書くこと、やり取り)

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定(課題)

「この一年間を振り返り、あなたは英語の授業でスピーチをすることになりました。次の2つのトピックについてどちらかを選び、以下の条件に従って英文を書きなさい。」

ア 思い出に残っていること(理由や具体的なエピソードを加える)

イ 友達へ感謝のメッセージ(理由や自分の気持ちを加える)

<条件>

- ① 思い出に残っていることや友達への感謝のメッセージを1つ選んで書く。
- ② 選んだトピックについて理由や感想、具体的なエピソードを書き、まとまりのある文章を書く。
- ③ 20 語以上の英語で書く。

(2) 実施方法

学年末考査の設問として出題する。

(3) 採点の基準

評価規準	この一年間を振り返り、思い出に残っていることや友達への感謝のメッセージを書くことができる。(書くこと)		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項の誤りがない英語で書くことができる。	条件①、②、③をすべて満たして書いている。	単元の中で、一体的に評価する。
b	上記のミスが2つ以内で書くことができる。	条件①、②を満たして書いている。	
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	

(4) 留意点

- ・ 「知識・技能」においては、語彙や文法など、英語の特徴や決まりに関する事項を理解しているか(知識)や、基本的な語句や文を用いてコミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、事実や自分の考えを整理して正確に書いて伝える技能を身に付けているか(技能)で判断する。
- ・ 「思考・判断・表現」においては、まとまりのある文章を書き、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に書いているかどうかで判断する。
- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」においては、読み手を意識して書こうとしているかで判断する。また、各単元の観察結果を加味しつつ、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。

事例34 【書くこと】 中3 2学期

～New Horizon English Course 3～

1 2学期の書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 11)

日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えを整理して書くことができる。

2 各単元で学習した内容

単元	単元の学習目標	主な言語活動
Unit 4	私達の町に初めて来た外国人のために、標識が何を意味しているかを説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> テレビのコマーシャルに出てくる人物の説明(発表、書くこと) Show and Tell(自分の好きな本やマンガの説明) 【単元を貫く Open Question】 How can we help each other in a disaster?
Unit 5	相手のことをよく知ったり自分のことをよく知ってもらうために、自分が尊敬したり、あこがれたりしている人物について、事実や考え、気持ちを整理して紹介することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 私のお気に入りの物紹介(発表、書くこと) おすすめの本やいつも持っている物紹介(発表、書くこと) 【単元を貫く Open Question】 Why is Gandhi greatly respected by many people?
Stage Activity 2	ALT と ALT の家族に、日本や私達の町の魅力を知ってもらうために、パンフレットを作ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 紹介したいことについて書く。(書くこと) 書いた文章を読み合い、質問やコメントを伝え合う。(読むこと、やり取り) 内容を追加して、パンフレットの原稿を書く。(書くこと) ALT にパンフレットを紹介し、感想も尋ねる。(書くこと)

3 パフォーマンステストの内容

(1) 場面設定、課題

オーストラリアに住んでいるマイクからあなたに次のようなメールが届きました。これから、あなたはマイクにそのメールの返信を書きます。マイクが知りたいことについて1つ選び、その具体的な説明やあなたの考え、おすすめの原因などを含めてメール文を作成し、返信しましょう。

Hi, I'm Mike. I'm a junior high school student in Australia. I like Japan very much. Especially, I'm interested in Japanese sweets. What is the most delicious Japanese sweets? I want to try it. I want to know Japanese events too. I want to enjoy it in Japan someday. Please tell me about it. I'm looking forward to hearing from you soon.

Thanks,
Mike

(2) 実施方法

- ① 問題文と解答用紙を配布する。
- ② 辞書を使用せずに、20 分間の試験時間とする。
- ③ 生徒の答案を回収し、(3)の各条件を踏まえて採点する。

(3) 条件

- ① 和菓子か日本の行事の中から1つ選んで、紹介文を書いている。
- ② 事実や自分の考え、おすすめの理由などを整理して書いている。
- ③ 25 語以上の英語で書いている。

(4) 採点の基準

評価規準	マイクから尋ねられたことについて、自分の考え及びその理由を整理してまとめた英文を書くことができる。(書くこと)		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	3つの条件を満たして書いている。	3つの条件を満たして書こうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	条件③を満たしていないが、条件①、②を満たして書いている。	条件③を満たしていないが、条件①、②を満たして書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(5) 留意点

- ・ 「知識・技能」においては、語彙や文法など、英語の特徴や決まりに関する事項を理解しているか(知識)や、基本的な語句や文を用いてコミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、事実や自分の考えを整理して正確に書いて伝える技能を身に付けているか(技能)で判断する。
- ・ 「思考・判断・表現」においては、まとまりのある文章を書き、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に書いているかどうかで判断する。
- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」においては、読み手を意識して書こうとしているかで判断する。また、各単元の観察結果を加味しつつ、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。

事例35 【書くこと】 高校①

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 8)

日常的な話題について、自分の伝えたいことや情報などを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

次の書き出しの英文に続けて、英語で「自分のこと」を紹介する文を書きなさい。

書き出しの英文: Hello, my name is

条件1:【A】のように様々な話題を1つずつ列挙するのではなく、【B】のように1つのトピックについて最低2文は情報を追加して、話題を深掘りすること。

条件2: 書き出しの英文を除き6文以上で書くこと。

【A】

My name is Taro Yamada.
I am a high school student.
My hobby is reading books.
I like watching football games.

【B】

(趣味を説明する例)

My hobby is reading books.
I read 10 books every month.
I have read all the Soseki Natsume books.

(好きなことを説明する例)

I like football.
I enjoy watching football games on the Internet.
My favorite player is Andres Iniesta, who belongs to Vissel Kobe.

3 実施方法

- ① 授業で扱う教科書の単元で、自己紹介で用いる表現、語彙(語句)、紹介内容を学習する。
- ② 自己紹介で使える単語や表現を読んだり、覚えたりする作業時間を取る。
- ③ 自分自身の自己紹介を英語で表現する。
- ④ 英語で下書きしたものをいったん提出し、教員から添削や受ける。
- ⑤ 定期考査で、上記設問を用意する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: 1つのトピックについて最低2文は情報を追加して、話題を深掘りすること。

条件2: 書き出しの英文を除き6文以上で書くこと。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を論理的に詳しく書いて伝えている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を論理的に詳しく書いて伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って書いている。	2つの条件を満たして書いて伝えている。	2つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

事例36 【書くこと】 高校②

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 11)

日常的な話題や社会的な話題について、「導入－本論－結論」などの文章校正の特徴を意識しながら、まとまりのある文章を書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

課題で課している英作文の題材を使って書くことのパフォーマンステストを実施する。

指定された番号の Topic について、あなたの意見とその理由を2つ、25～35 語の英語で述べなさい。

Topic	1 Which do you like better, watching sports or playing sports? 2 Which do you like better, spring or autumn? 3 Which do you like better, summer or winter? 4 Which do you like better, taking a bus or walking?
自由メモ欄	

_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	10
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	20
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	30
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	40

3 実施方法

- ① 上記のテスト問題に採点の基準を載せた問題用紙を配布する。
- ② 10 分間で、指定されたトピックについて英文を書く。
- ③ 生徒の答案を回収し、4の採点の基準に沿って採点する。

4 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	多様な語彙や表現を使いながら、理解しやすい英文を用いて書いている。	自分の意見とその理由を2つ書いた上で、説得力がある理由や根拠を示しながら書いて伝えている。	自分の意見とその理由を2つ書いた上で、説得力がある理由や根拠を示しながら書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	自分の意見とその理由を2つ書いて伝えている。	自分の意見とその理由を2つ書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例37 【書くこと】 高校③

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 11)

日常的な話題や社会的な話題について、「導入－本論－結論」などの文章校正の特徴を意識しながら、まとまりのある文章を書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

Choose one of the three topics below and answer the question.

You have to write down about the topic you choose in about 50 to 60 words.

Topic 1. What was the most impressive memory in your school?

Topic 2. What subject do you want to study from now on in college?

Topic 3. What do you want to be in the future?

3 実施方法

定期考査で実施

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: Topic 1 については具体例を少なくとも2つ書いている。
 Topic 2、3 については理由を少なくとも2つ書いている。
 条件2: 箇条書きではなく話の流れに論理性がある。

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え等を具体的に書いて伝えている。	主体的に学習に取り組む態度は評価しない。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って書いている。	2つの条件を満たして書いて伝えている。	
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	

事例38 【書くこと】 高校④

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 11)

日常的な話題や社会的な話題について、「導入－本論－結論」などの文章校正の特徴を意識しながら、まとまりのある文章を書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

自分が好きな人(もの)について、英文を書く。

自分が好きな人(もの)について、英文を書こう。英文を書く際は、以下の3つを含むこととする。また、事前に内容を整理して、パフォーマンステストに向けて準備する時間を与えるが、テストはメモ等を見ずに受けることとする。

- ① トピックセンテンス
- ② トピックセンテンスをサポートする3つの理由
- ③ まとめの文章

3 実施方法

- ① トピックセンテンス、トピックセンテンスをサポートする3つの理由、まとめの文章を考える準備時間を20分与える。
- ② 問題用紙と解答用紙を配布する。
- ③ 10分間で、自分が好きな人(もの)について、英文を書く。
- ④ 生徒の解答を回収し、下の4の採点の基準に沿って採点する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、3つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

- 条件1:トピックセンテンスを書いている。
 条件2:トピックセンテンスをサポートする3つの理由を書いている。
 条件3:まとめの文章を書いている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている。	3つの条件を全て満たした上で、適切な文章構成で詳しく書いて伝えている。	3つの条件を全て満たした上で、適切な文章構成で詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を書いている。	3つの条件を満たして書いて伝えている。	3つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例39 【書くこと】 高校⑤

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 11 程度)

絵や写真の説明などを整理して正確に書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

次の①～③の絵のうち1つを選んで、与えられた条件に従って 30 語程度の英語で自由に説明する。

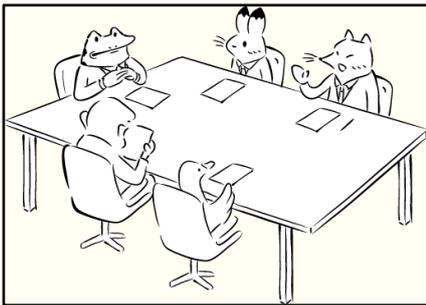
①



条件1:どんな人物かを伝える。

条件2:これから何をしようとしているか伝える。

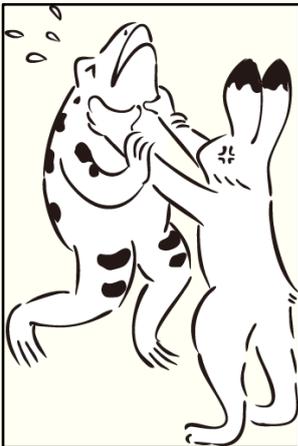
②



条件1:何をしているのかを説明する。

条件2:どんな解決策を提案しているのかを説明する。

③



条件1:何をしているのかを説明する。

条件2:原因は何かを説明する。

3 実施方法

- ① 問題用紙を準備する。
- ② 事前に絵の内容についてヒントを与えておく。
- ③ 学習者用 PC 等を用いて下調べをする時間を与える。
- ④ 与えられた時間内で、指示文に従って英文を作成する。
- ⑤ 回収し、下の4の基準に沿って評価する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

①	条件1:どんな人物かを伝える。 条件2:これから何をしようとしているか伝える。
②	条件1:何をしているのかを説明する。 条件2:どんな解決策を提案しているのかを説明する。
③	条件1:何をしているのかを説明する。 条件2:原因は何かを説明する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報を論理的に詳しく書いて伝えている。	2つの条件を満たした上で、関連する情報を論理的に詳しく書いて伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って書いている。	2つの条件を満たして書いて伝えている。	2つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5 留意点

- ・ 「知識・技能」については、英語の語順をきちんと活用できているかに重点を置き、綴りミスは問わない。
- ・ 「主体的に学習に取り組む態度」については、自分が伝えたいことや情報を整理し、まとまりのある文章で相手に伝えようとしているかなどについて評価する。

事例40 【書くこと】 高校⑥

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 14)

日常的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や考えたことを、辞書を使って論理性に注意しながらまとめた文章を書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

教科書の本文を元に、「環境問題」について与えられたキーワードを用いて要約文を書く。また、問題解決のために何ができるか、自分の考えを提案する意見文を書く。

3 実施方法

- ① 授業では、各課のパート毎にキーワードを使って要約する活動を行っておく。
例) microplastic、poisonous、environment、fish、food chain
- ② パフォーマンステストでは、前半で要約文、後半で意見文を完成させ、4の採点の基準に沿って評価を行う。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1: 与えられたキーワードを用い、授業で学んだ語いや表現を活用しながら、テーマに沿った要約文を書くことができている。
条件2: 解決策について、自分の意見を理由とともに述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、まとまりのある要約文と、具体例等を挙げながら、説得力のある意見文を書いて伝えている。	2つの条件を満たした上で、まとまりのある要約文と、具体例等を挙げながら、説得力のある意見文を書いて伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って書いている。	2つの条件を満たして書いて伝えている。	2つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

事例41 【書くこと】 高校⑦

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 15)

社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や自分が考えたことを、辞書を使って論理性に注意しながらまとめた文章を書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

あなたは授業で The legal age of adulthood in Japan should be 18. 「日本の成人年齢は18歳にすべきである」というテーマでディベートをすることになり、準備をしています。

あなたは否定側の立論を聞いています。否定側立論に対するアタック(どちらの柱に対するアタックでも構わない)を 50 語程度の英語で書きなさい。

否定側立論

We believe that the legal age of adulthood should not be 18 for the following reasons.

First, 18 and 19-year-olds can get into trouble with money because they lack experience and knowledge. At present, they can't use credit cards or borrow money from loan companies without the permission of their parents. If they are allowed to borrow as much money as they want, whenever they want to, they might waste a lot on goods or services. Also, they might get caught up in a crime.

Second, smoking and drinking alcohol can have a bad effect on young people. At present, 18 and 19-year-olds are not allowed to smoke and drink in Japan. If they begin to smoke or drink in their teens, its influence on their body will be much greater. Lowering the legal age of adulthood can be harmful to their health.

For these reasons, we oppose the idea that the legal age of adulthood should be 18.

3 実施方法

定期考査で実施

反論を書かせる問いの前に、立論をまとめたメモの空所補充(選択式)を用意し、英語が苦手な生徒も立論の要点を理解して、問題に取り組めるよう工夫する。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1:立論の柱を理解し、それに対して反論を書いている。

条件2:自分の反論を補強する説明や具体例などを挙げることができる。

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、立論の柱に対して、論理的な反論などを詳しく書いて伝えている。	主体的に学習に取り組む態度は評価しない。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って書いている。	2つの条件を満たして書いて伝えている。	
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	

事例42 【書くこと】 高校⑧

1 書くことの学習到達目標(佐賀県 CAN-DO リスト Grade 15)

社会的な話題について、聞いたり読んだりした内容をもとに、まとめた情報や自分が考えたことを、辞書を使って論理性に注意しながらまとめた文章を書くことができる。

2 パフォーマンステスト問題

教科書[ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I (東京書籍)]にある新聞記事の内容に対する質問をEメールの形式で書かせる。

You are going to write an email to ask about the environmental projects in Red Hill High School.
UNIT3 Reading 2(p.49)で読んだ、Red Hill High School の記事に対する質問をEメールの形式で書こう。

3 実施方法

- ① 教科書の新聞記事を読み返し、彼らの取り組みを確認する。
- ② その取り組みに沿って、記事に書かれていないことで知りたいことを4つ考える。
- ③ その4つを疑問文にする。そのうち2つ以上は5W1Hを使った疑問文にする。
- ④ Eメールの形式に則り、指定の用紙に書く。

4 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1:本文の取り組みに関する4つの疑問文を書いている。

条件2:Eメールの形式で書いている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	2つの条件を満たした上で、読み手の関心を引くために効果的な表現を用いて、書いて伝えている。	2つの条件を満たし、読み手の関心を引くために効果的な表現を用いて、書いて伝えようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って伝えている。	2つの条件を満たして書いて伝えている。	2つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

5 留意点

条件2については、挨拶、状況の説明、疑問点の提示、締め言葉、署名などを含む。また、状況の説明には、自分が何者で、どうやって相手のことを知ったのか、なぜメールを出しているのか、何を求めているのか等を含めるように指示する。